

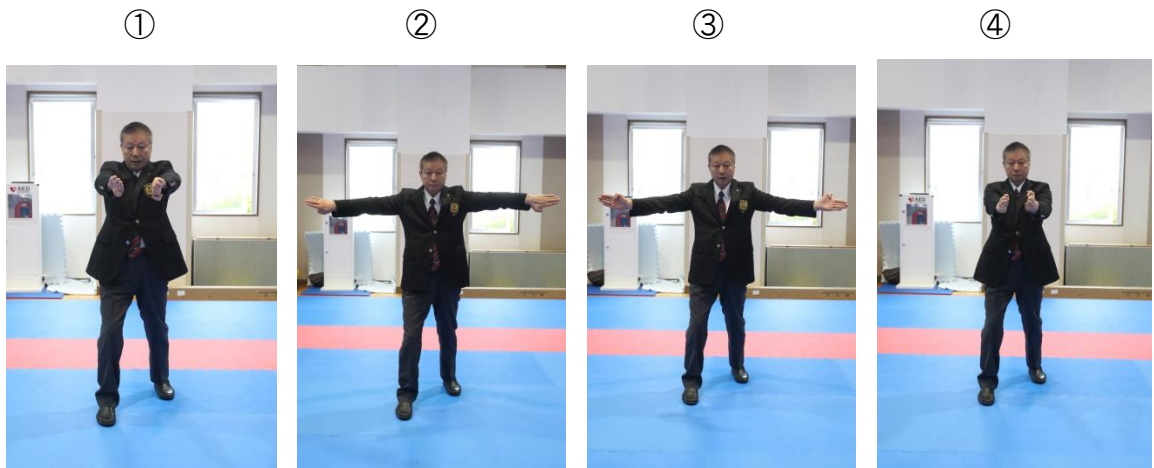


「わかれて-つづけて」 & 「不活動」

1. 「わかれて-つづけて」

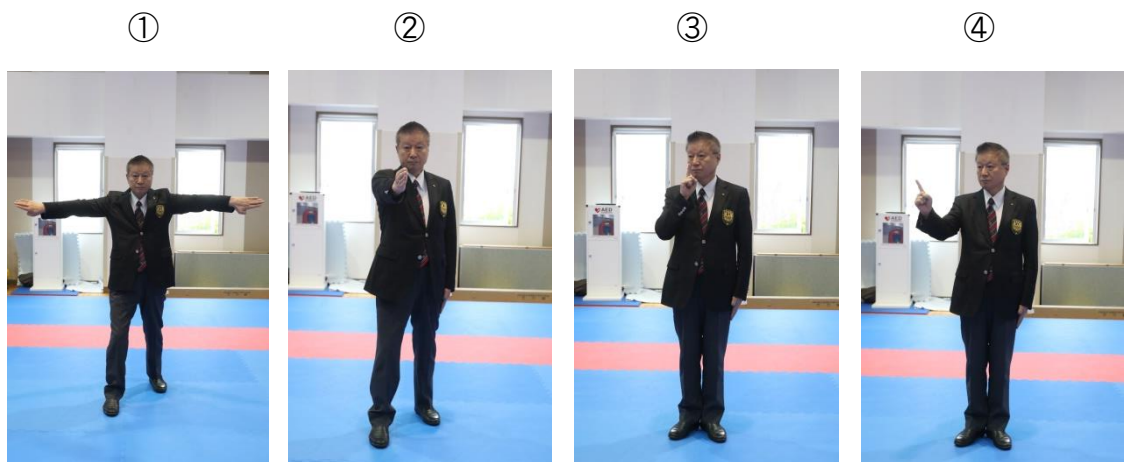
- 1) 競技者がわかるまで手の平を離し、その後両手を合わせ「つづけて」の合図をおこなう。主審が「わかれて」を告げたとき競技者が得点技を出した場合副審は得点の旗表示をしてはならない。

説明 「わかれて」と発声し双方の競技者が分かれたことを確認したなら直ぐにそのまま手を下ろすことなく「つづけて」のゼスチャーを行う。①から②までの間に技を出してはいけない。この間に技を出した場合 C2 の違反となる。腕の開きが小さくならないように肩ほどの高さで明確に行う。



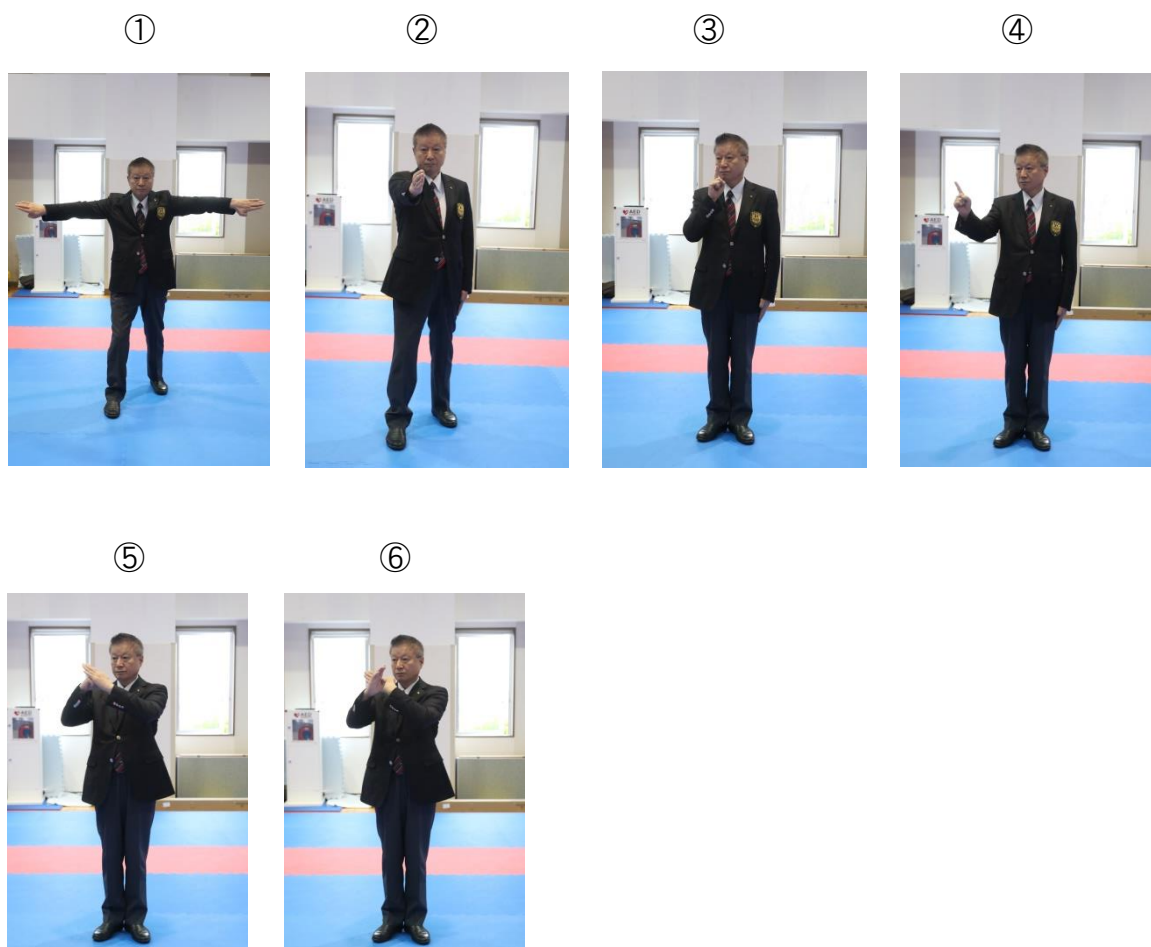
- 2) 片方、又は両方の競技者が技を出した場合、主審は人差し指を唇にあて副審の同意を得てカテゴリー2の違反を与える。

説明 主審は違反した側の選手の方を向く。赤が違反の場合は右手を、青の場合は左手を唇の前に置く。③主審は同意を求める補助動作をしたあと C2 を宣告する。副審の旗表示は③のときにおこなう。



3) 競技者が過度の接触をした場合、主審はヤメを掛けカテゴリー2とカテゴリー1の両方を順番に与える。

説明 主審は競技者が過度の接触をした場合、必ずC2(③・④)を先に与え、その後C1(⑤・⑥)を宣告。いずれの場合も副審に同意を求める。



- ・「わかれて-つづけて」は競技時間の開始から終了するまでの間、使用することができる。
(15秒未満を含む全競技時間)
- ・「つづけて」&「不活動」は15秒未満で使用することはできない。

2. 「不活動」

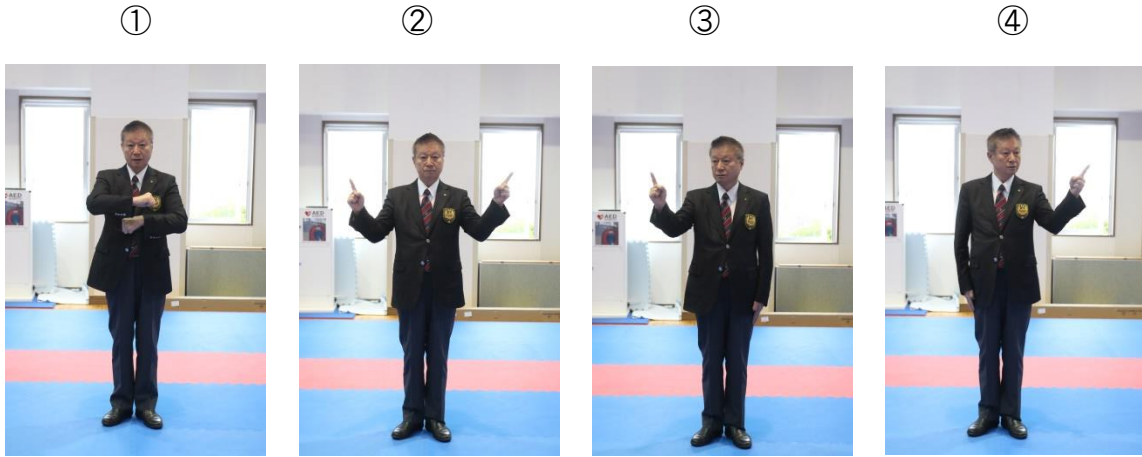
1) 不活動は得点、又は先取でリードしている競技者に与えることはできない。

青	赤	カテゴリー2	
0	—	0	赤と青の両者
3	—	3	赤と青の両者
2	—	1	赤のみ(同時得点・先取なし)
✓ 2	—	2	赤のみ
✓ 1	—	5	青のみ

2) 両方に与える場合

不活動の補助動作を行い、両方の競技者にC2の違反を示す、副審の同意を得てカテゴリー2を与える。

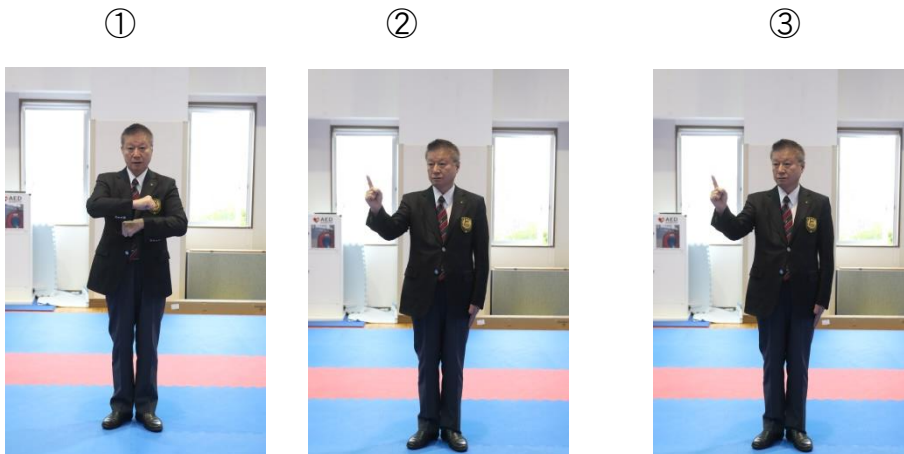
説明 主審は腕を回し、同時に両手で②の動作を行う。その後手を下ろし、それぞれ(③・④)にC2を宣告。副審は②の動作のとき、同意をするなら旗表示を行う。



3) 片方に与える場合

不活動の補助動作を行い、どちらか与える側の競技者にC2の違反を示す、副審の同意を得てカテゴリー2を与える。

説明 副審は主審の②の動作の時に同意をするなら旗表示を行う。その後C2を宣告。②の場合は同意を求める補助動作。③で宣告。



2022年4月1日

(公財)全日本空手道連盟審判委員会
委員長 高橋 和夫